

シリーズ「グリーンリカバリー」vol.5

環境先進国ドイツの叡智を滋賀へ！

『ポストコロナ時代に向けて 持続可能な交通とまちづくりを考える

～事業者、行政、市民が今やるべきこと～』

開催日：2021年3月16日（火）

場 所：滋賀県農業教育情報センター 2階 多目的ホール（Zoomによるオンラインと併催）

主 催：滋賀グリーン活動ネットワーク（SGN）

後 援：滋賀県・滋賀県地球温暖化防止活動推進センター

企 画：SGN エコ交通研究会

参加者：72名以上

内 容：

■基調講演『欧州の交通におけるトレンドと持続可能な地域づくり』

環境まちづくりジャーナリスト 村上 敦 氏

■特別講演『滋賀らしい「エコ交通」の推進に向けて』

滋賀県知事 三日月 大造 氏

■未来づくりディスカッション

コーディネーター：高橋 卓也（滋賀県立大学 環境科学部 教授）

■会場参加者 記念撮影

前半は村上氏に「ショートウェイシティ」（移動距離の短いまち）について、まちづくりの視点からお話しいただきました。ドイツフライブルク市と青森市の居住環境を比較し、日本において今後発生して過疎化や空き家問題に対応し持続可能なまちづくりのために、賃貸や集合住宅をメインとした住宅施策や道路管理を含めたインフラ整備を行っているフライブルク市の例がアイデアになるのではないかとお話しいただきました。

三日月知事には、県民の移動を確保するために持続可能な仕組みの交通網構築が必要であり、行政・地域・利用者の意識・行動の変化が必要であるとお話をいただきました。また、県内ですでに実施されている近江鉄道沿線の活性化や竜王 MaaS プロジェクトなどもご紹介いただきました。

ディスカッションでは、まちづくりにおける合意形成の方法など参加者からの質問にもご回答いただきました。

セミナー最後に、スクリーン上の村上氏を含め、会場出席者全員で記念撮影を行いました。

